

事業分野

地域の企業・市民団体・
個人への中間支援

団体名

一般社団法人 多摩区ソーシャルデザインセンター

関心のある 15のAction



ACTION 01 グリーン・コミュニティ ACTION 02 ブランディング ACTION 03 ビジネス・インキュベーション ACTION 04 ネットワーク・ジェネレーション ACTION 05 名物フード ACTION 06 チアアップ ACTION 07 ナイトタイムエコノミー ACTION 08 サステイナブル ACTION 09 イベント・祭 ACTION 10 Well-being ACTION 11 グローバル ACTION 12 アート&ミュージック ACTION 13 スポーツ ACTION 14 学び ACTION 15 安全・安心



これまでの取組活動

- 1 子ども食堂への開設支援（運営形態の違う5つの子ども食堂運営・月1回開催約250名参加、開設への中間支援、地域への広報）
- 2 登戸たまがわマルシェ（コロナ禍で制限がかかるイベントを多摩川河川敷の広大な敷地を使い密にならないように5万名参加のイベントを開催、地域から子ども、合唱・音楽、飲食店、障がい者施設などの出店・出品・出演者160法人・団体を集めた。）

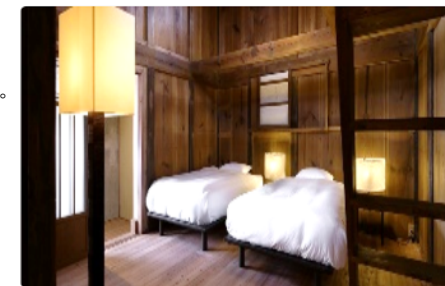


- 3 古民家カフェはらっぱ（川崎の貴重な資源である日本民家園の1つで古民家カフェを行っている。運営は大学生が行っている）
- 4 子育てイベント（学校が楽しくなるドッチボール講座、夏休みの宿題を前半に終わらせる臨時学童、冬休みの宿題をみんなと一緒にやって家を汚さない書初めをする書道教室など）
- 5 川崎で育った大学生をボランティアの募集と育成（小・中学校が川崎で育ち住む大学生。50名以上います。一時的なボランティアは80～120名集まる）



市制100周年に向けた取組アイデア

- ①日本民家園の古民家カフェはらっぱのメニュー「はらっぱスペシャル」として多摩区内のお菓子を集めた和風アフタヌーンティーを提供。これを100周年バージョンとしてメニューを作る。
- ②緑と日本家屋が共存する日本民家園を100周年を機会に世界に発信。平日の小中学生の校外学習、ボランティア活動、全国から集めた家屋の保存的観点など多くの市民活動や博物館施設としての役割などを保証しつつ、宿泊・飲食などもでき、世界に日本家屋の多くの良さを知らせていただく施設にする。これは持続可能なものとしての歴史・環境・現在の交差点とすることができる。少子高齢化の中でも資金面なども含め、新たな施設運営形態を全国に発信できるモデルとする。2025年のエクスパなどで日本に海外からの訪問者が増える予定のある中、都内、羽田空港などのアクセスが良い川崎で緑と環境と歴史の共存を見せることができる。
- ③市制100周年の子ども食堂の企画



実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

- ①②など子育て支援・地域活動を、企業などと一緒にSDGs：CSR的に地域と一緒に行動するのは私たち多摩SDCでは特に力を入れています。
- ③については、全国の事例を集め、それを行っている企業・団体・行政を知っています。国の重要文化財をレストランにするなどの事例も見てきました。しかしこれだけの大きな企画をするのに地元への配慮、活動者への配慮、博物館施設としての配慮など様々な観点での配慮が必要と聞いています。

これを私たちだけではできないと思っています。川崎が緑・歴史・環境・市民との共存をしつつ、日本で有数のものができれば市民の自慢、自身につながると考えています。夢物語のようなお話だと思いつつ、本気で考えています。是非、ご興味を持たれた方ご連絡をお待ちしています。
※多摩区役所1階に事務局が平日10～16時開所、また毎週金曜日18時から学生約40名と打合せをしているのでここには是非来てください！